

WHITE & CASE

プレスリリース

報道関係者各位

ホワイト&ケース、 パナソニックのブルーヨンダーへの株式投資について助言

2020年5月21日、東京 ... グローバル・ローファームであるホワイト&ケース LLP（以下、ホワイト&ケース）は本日、パナソニック株式会社（以下、パナソニック）によるエンドツーエンドのサプライチェーン・ソフトウェアの専門企業である Blue Yonder（以下、ブルーヨンダー）への戦略的株式投資（20%）について、パナソニックに助言したことを公表しました。

ホワイト&ケース東京オフィス M&A プラクティス共同代表で本案件をリードしたパートナーの宇佐神順は、次のようにコメントしました。「今回、このような戦略的に重要な取引において、パナソニック株式会社を法務面でサポートさせて頂けたことを大変光栄に存じます。本案件では、東京オフィスの M&A チームが米国を中心とするホワイト&ケースのグローバル案件担当チームをリードし、高度の専門性に基づく法的助言や実務的なガイダンスを提供することで、クライアントの戦略的パートナーシップ拡大のために寄与することができたものと自負しております」

これは、ブルーヨンダーの企業価値 55 億米ドルに基づいた株式投資^{*}で、パナソニックは限定的な少数株主として株式を所有、ブルーヨンダーの取締役会 9 議席のうち、1 議席が与えられます。

^{*}投資額は、Blue Yonder の企業価値 55 億ドルにより算出された株式価値に基づいて算定

ホワイト&ケースでは、東京オフィスのパートナーである宇佐神順とネルス・ハンセン、カウンセラーである朝山志乃が率いるチームが同案件を担当しました。同案件担当チームに参加した弁護士・ロイヤーは次の通りです。（かっこ内は所属オフィス）

【パートナー】 Gregory Pryor、Sang I. Ji、Arlene Arin Hahn、Henrik Patel、Steven Gee、Tal Marnin（ニューヨーク）▽Farhad Jalinous、Daniel Levin、Rebecca Farrington、Cristina Brayton

Lewis (ワシントン DC) ▽Nicholas Greenacre (ロンドン) ▽Tilman Kuhn (デュッセルドルフ)

【ローカルパートナー】デービッド・アルバグリ、ウィリアム・モラン (東京)

【カウンセラー】大軒敬子 (東京) ▽Keith Schomig、F. Paul Pittman (ワシントン DC)

【アソシエイト】小柳葵、ロレイン・イップ、服部有紀、クリスティアン・オートン、北山慎太郎、ケヴィン・リー、イリン・ジュ (ゾーイ)、日向美月 (東京) ▽Xiaofeng Gong (北京) ▽寺田ジャスティン (フランクフルト、東京) ▽David Smith、Agmal Bahrami (フランクフルト) ▽Benita Tibb (ロンドン) ▽Neeraj Shah (ロサンゼルス) ▽Roman Gonzalez Melo、German Macias Salas (メキシコシティ) ▽Ksenia Tyunik (モスクワ) ▽Arian Mossanenzadeh、甲田紘之、Jaymon Ballew、Jerry Lee、Peter Shelburne (ニューヨーク) ▽Trishala Naidu (シンガポール) ▽Andrew Mann、Yi Ying、Jan Jeram、Ashley Williams、Mark Williams、Ata Akiner (ワシントン DC)

ホワイト&ケースについて

ホワイト&ケースは、世界 30 カ国 44 拠点を擁する国際的な法律事務所です。米国系法律事務所として早くから国際化を果たし、国境を越えた経済活動において求められるすべての法域に関して助言を提供しています。世界各地に所在する拠点を統合したグローバルネットワークの提供する価値と、各地域に米国法、英国法および現地法の弁護士等を擁する体制に基づく国際的法務業務への対応力に対し、クライアントから高い評価を得ており、複雑な国際取引案件や仲裁・訴訟の代理業務などで助言を提供しています。

問い合わせ先

ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所

ホワイト&ケース法律事務所

(外国法共同事業)

土田美由紀

電話 : 03 6384 3357

E メール : miyuki.tsuchida@whitecase.com